



ガイドの神元繁勝さん(右端)の説明に熱心に耳を傾ける「那覇まちまーい」の参加者14日、那覇市牧志

那覇まちまーい 路地で魅力、新発見、

地域の魅力発掘

チャンパク

読ん てる NIE 歩きをする「那覇まちまーい」(那覇市観光協会主催)が第3回沖縄チャンプルー博覧会(チャンパク)の一環で開かれている。「那覇まちまーい」はさまざまな角度から那覇の歴史や文化、地域の魅力を紹介するために約30コースを設け、地元の人や観光客を案内する催し。約2年前からほぼ毎日、日替わりでいくつかのコースを案内している。14日は「国際通りのワキ道ヨコ道ウラの道」と題して国際通り周辺の路地を約1

ガイドと一緒に街歩きをする「那覇まちまーい」(那覇市観光協会主催)が第3回沖縄チャンプルー博覧会(チャンパク)の一環で開かれている。「那覇まちまーい」はさまざまな角度から那覇の歴史や文化、地域の魅力を紹介するために約30コースを設け、地元の人や観光客を案内する催し。約2年前からほぼ毎日、日替わりでいくつかのコースを案内している。14日は「国際通りのワキ道ヨコ道ウラの道」と題して国際通り周辺の路地を約1時間半かけて巡る企画など、6コースを実施した。この企画は神元繁勝さん(68)がガイドを務め、国際通り周辺の通り名の由来や名所、植物などについて説明したほか、昔の写真を示して現在の風景と比べた。

東京から観光で来た石川一郎さん(51)は「那覇まちまーい」には昨年から数えて3回目の参加。「街歩きをするのが好き。国際通りはよく来るが、裏道にはあまり来ない。街中に大きな墓があるなど、普段は気付かないことがいっぱいある」と、新たな発見を楽しんでいた。

「那覇まちまーい」の参加は有料(コースで参加料が異なる)で、事前申し込みが必要。申し込み、問い合わせは同観光協会まちまーい事務所 ☎098(860)5780。